

# 2023年3月期第3四半期 決算説明資料

2023年2月10日



本資料の如何なる情報も、弊社株式の購入や売却などを勧誘するものではありません。また、本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点での弊社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではなく、今後、予告なしに変更されることがあります。万が一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社は一切責任を負うものではありません。



# 当社グループの報告セグメント

## エレクトロニクス事業 (エレクトロニクス事業) ※1

PWB用部材を始めとする電子部品用  
化学品部材の開発・製造販売及び  
仕入販売

※1 第1四半期連結会計期間より、「電子機器用部材事業」の名称を「エレクトロニクス事業」に変更しました。  
変更はセグメントの名称のみであり、セグメントを構成する子会社に変更はありません。



## 医療・医薬品事業 (医薬品事業)

医療用医薬品の製造販売・製造受託



## その他事業

自然エネルギーによるエネルギー事業、  
食糧事業、染料、顔料等の化学品の  
ファインケミカル事業及びICT事業等



# 2023年3月期3Q トピックス

## エレキ事業

- 売上高は、前年同期比で4%増加  
主要因
  - 円安に推移したことにより増収増益に寄与  
当期期中平均為替レート：1米ドル135.4円（前年同期：1米ドル111.4円）
  - PKG：メモリの需要の低下に伴い顧客での在庫調整が行われ販売数量が減少
  - リジッド：中国市場を中心とした需要の低下により販売数量が減少

## 医薬事業

- 売上高は、前年同期比で4%増加  
主要因
  - 製造受託事業のプロダクトミックス変化による増加
  - 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う一部製品の需要の増加
  - 長期収載品の薬価改定による販売単価の下落
  - 他社同効薬等の限定出荷解除に伴う需要の減少
- パーキンソニズム治療剤「マドパー<sup>®</sup>配合錠」の剤型追加に関する製造販売承認を申請
- 新福利厚生施設「T-LINKS」の開設

## その他事業

- 太陽グリーンエナジー：奈良県に1ヶ所、新たな水上太陽光発電所を開所
- ファンリード：株式会社アペックスの株式譲受

## 全社

- 自己株式の取得（2022年7月1日～2022年11月15日）  
取得株式数：575,000株 株式取得総額：約1,500百万円
- 給与水準：年間給与の数%～約40%アップを実施予定
- スケートボード・男子パーク永原悠路選手との所属契約を締結

# 連結業績

## 連結業績サマリ

単位：百万円

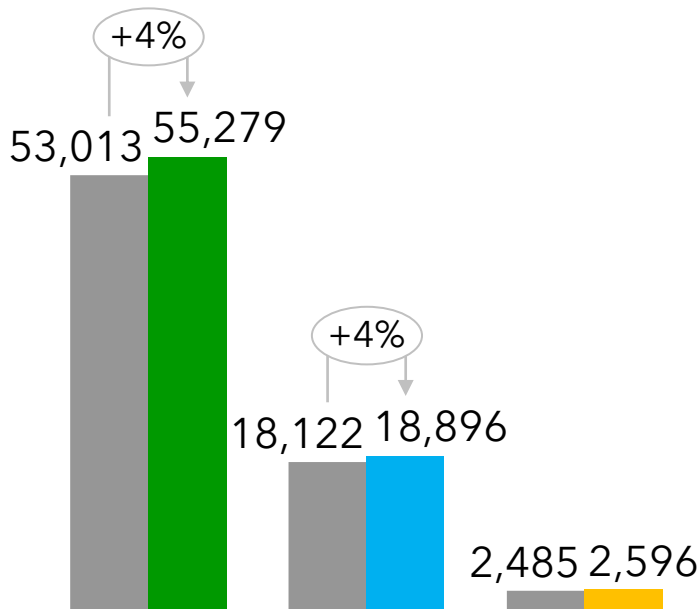
	① 2022年3月期 3Q累計 実績	② 2023年3月期 3Q累計 実績	②-① 前年同期比	(②-①)÷① 増減率	③ 2023年3月期 4月28日発表 通期 業績予想	②÷③ 進捗率
売上高	73,622	76,772	3,150	4%	109,400	70%
営業利益	14,370	14,269	△100	△1%	19,000	75%
経常利益	14,637	13,910	△726	△5%	18,800	74%
親会社株主に帰属する当期純利益	10,360	10,320	△39	△0%	12,800	81%
円・USDレート	111.4	135.4	24.0		120.0	
EBITDA	20,292	20,176	△116	△1%	26,900	75%
営業利益率	20%	19%			17%	
EBITDA マージン	28%	26%			25%	

# セグメント別業績

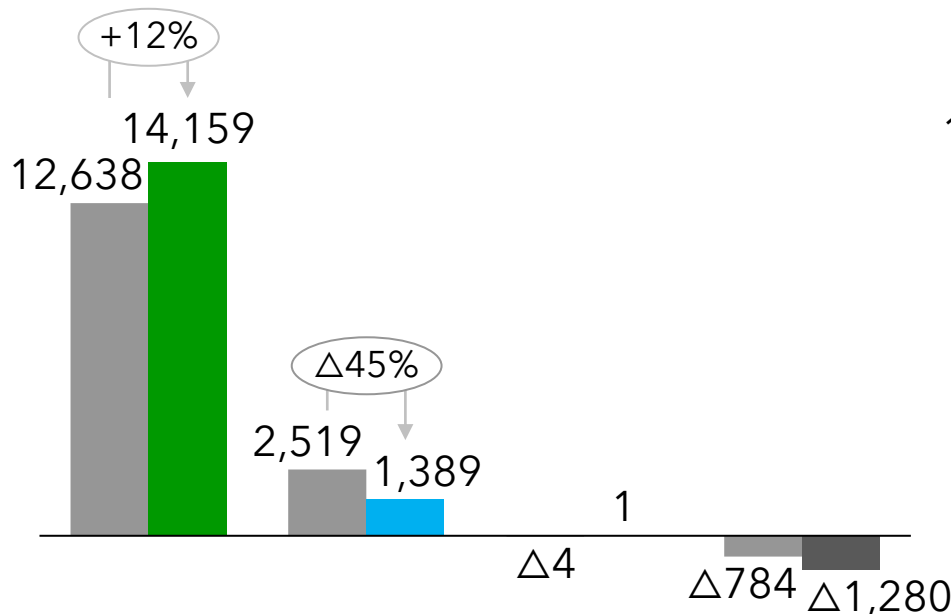
## セグメント別売上高・営業利益※1・EBITDA※1 単位：百万円

2022年3月期 第3四半期累計      2023年3月期 第3四半期累計

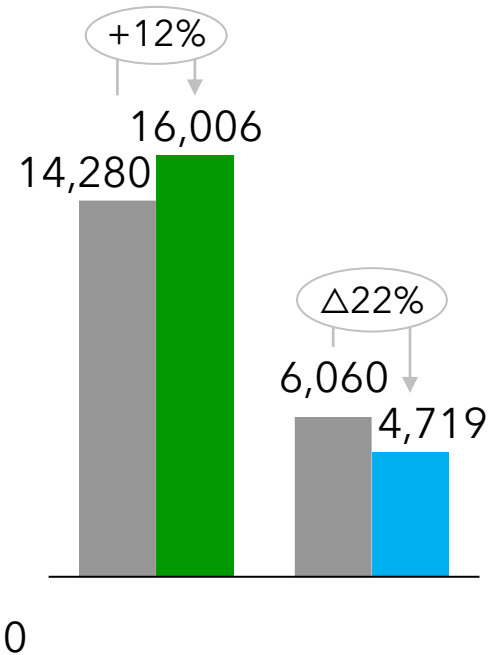
### 売上高



### 営業利益



### EBITDA



エレキ事業

医薬事業

その他事業

営業利益率

エレキ事業

医薬事業

その他事業

24%26%

14% 7%

△0% 0%

全社費用

EBITDA  
マージン

エレキ事業

医薬事業

27%29%

33%25%

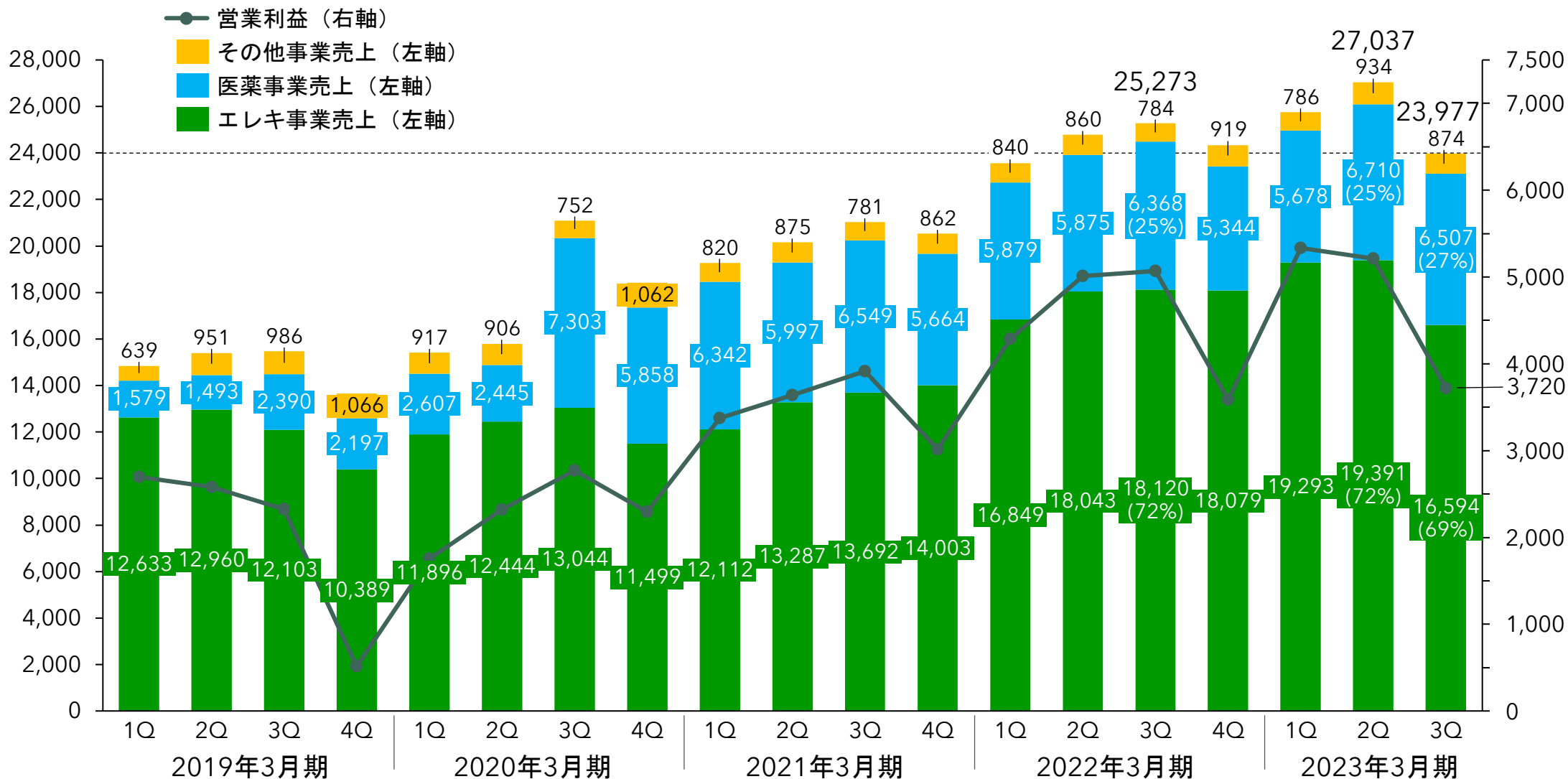
※1 第1四半期会計期間より、従来は全社費用に含めていた一部の研究開発に関する費用を各報告セグメントに配賦しています。

なお、前第3四半期累計期間のセグメント利益及び損失、EBITDAについても第3四半期累計期間と同様の配賦方法により算定しているため、過去の開示数値と差異が生じています。

# 四半期別推移

## 四半期別推移：売上高・営業利益

単位：百万円



# BSの概況

## BS前期比較

単位：百万円

	22/3末	22/12末	増減
現金及び預金	51,557	51,071	△485
受取手形及び売掛金	27,558	24,804	△2,753
棚卸資産 <sup>※1</sup>	16,384	16,003	△381
上記以外	3,266	2,928	△338
<b>流動資産合計</b>	<b>98,766</b>	<b>94,807</b>	△3,958
有形固定資産	52,255	57,583	5,327
無形固定資産	32,058	30,358	△1,700
投資その他の資産	6,192	7,386	1,193
<b>固定資産合計</b>	<b>90,507</b>	<b>95,328</b>	4,821
<b>資産合計</b>	<b>189,273</b>	<b>190,135</b>	862

	22/3末	22/12末	増減
支払手形及び買掛金	9,255	8,668	△587
短期借入金 <sup>※2</sup>	29,770	23,910	△5,860
長期借入金	48,383	50,001	1,618
上記以外	16,396	16,204	△192
<b>負債合計</b>	<b>103,806</b>	<b>98,784</b>	△5,021
株主資本	79,916	85,012	5,096
その他の包括利益累計額	5,549	6,335	786
非支配株主持分	1	2	1
<b>純資産合計</b>	<b>85,466</b>	<b>91,350</b>	5,883
<b>負債純資産合計</b>	<b>189,273</b>	<b>190,135</b>	862

※1 棚卸資産：商品及び製品+仕掛品+原材料及び貯蔵品  
 ※2 短期借入金：短期借入金+1年内返済予定の長期借入金

自己資本比率	22/3末	22/12末	増減
	45.2%	48.0%	+2.8%

# 自己株式の取得終了

- ✓ 2022年3月18日開催の取締役会決議に基づく2023年3月期の取得株式の取得は、取得株式総額の上限（15億円）に達したため終了いたしました。

## 自己株式の取得予定と実績

2023年3月期 予定	取得株式総数	1,000,000 株（上限）
	取得株式総額	1,500,000,000 円（上限）
	取得期間	2022年3月22日 ~ 2023年3月16日
2023年3月期 実績	取得株式総数	575,000 株
	取得株式総額	1,499,984,873 円
	取得期間	2022年7月1日 ~ 2022年11月15日



# 給与水準の引き上げを実施予定

- ✓ 太陽ホールディングスは、“自律型人材”育成のため従業員への公約の一つである“公正な評価・給与”の見直しを実施し、市場の状況に応じた水準の最適化として2023年4月から年間給与を数%～約40%アップいたします。



年間給与※1

2023年4月から  
数% ～ **約40%**  
アップ

※1 22年3月期有価証券報告書の掲載基準に基づき、基準外給与、賞与、株式付与ESOP信託による株式付与分、確定給付企業年金の年間積立額及び確定拠出年金の掛金を含みます。改定の例としては、大卒新入社員の初任給が月額28万円（みなし残業手当61,000円を含む）から31万円（みなし残業手当なし）に、総合職30代前半（標準モデル）の従業員は月額31万円から45万円にアップします。

# エレクトロニクス事業

## 用語説明

用語	内容
PWB (Printed Wiring Board)	プリント配線板
SR (Solder Resist)	ソルダーレジスト（レジストインキ）
PKG (Package)	半導体パッケージ
DF (Dry Film)	ドライフィルム

# エレクトロニクス事業

## 製品分野

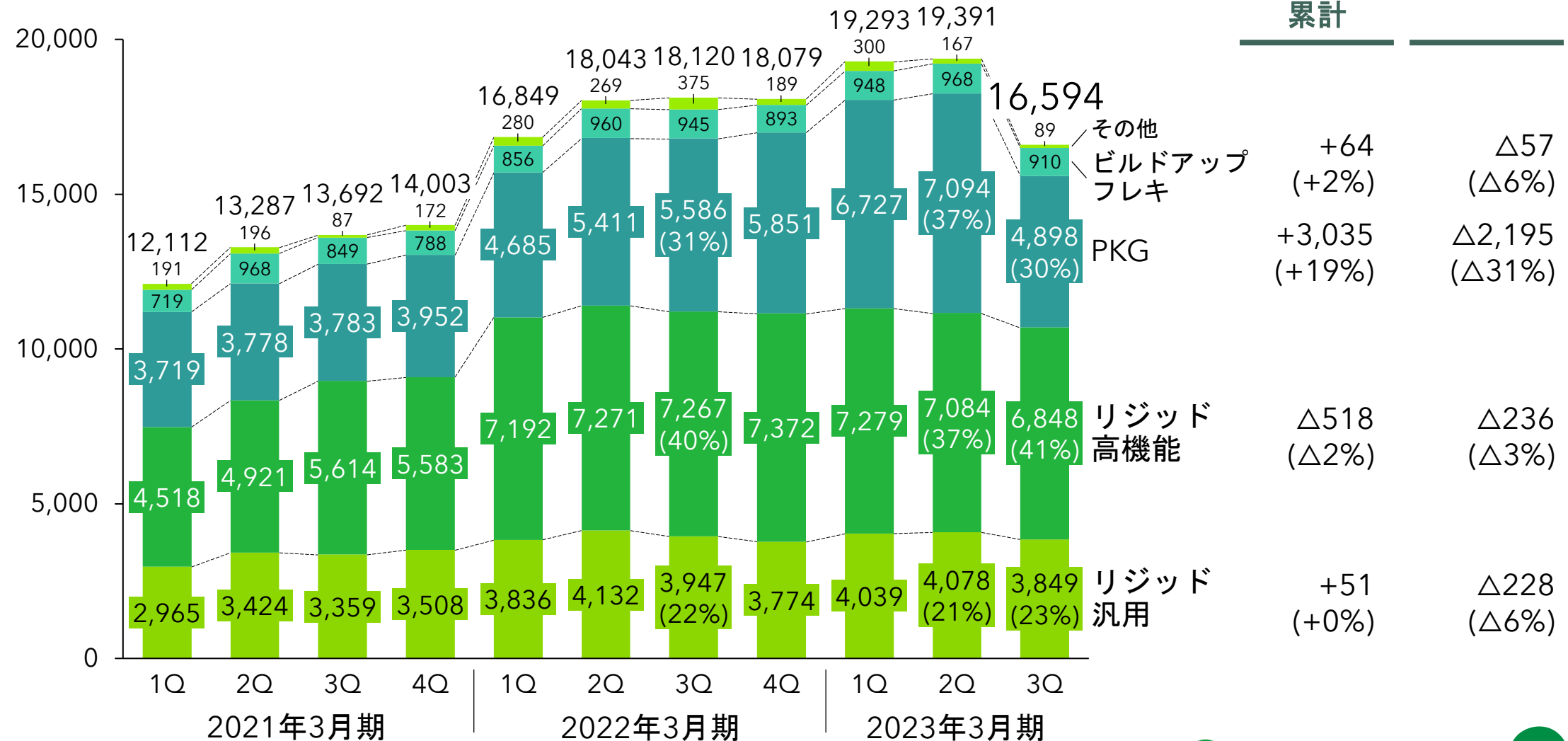
分野	分類	性状	用途
PWB用 絶縁材料	リジッド	汎用品	液状
		高機能品	液状／DF
	PKG	液状／DF	表層保護・絶縁用 SR材料 電子機器用材料
	フレキ	液状／DF	
	ビルドアップ	液状／DF	
その他 関連商材	その他	液状	マーキング・エッチング・めっき用材料 フラックス・溶剤等・導電性銀ペースト

# エレクトロニクス事業

## 製品別売上高

単位：百万円

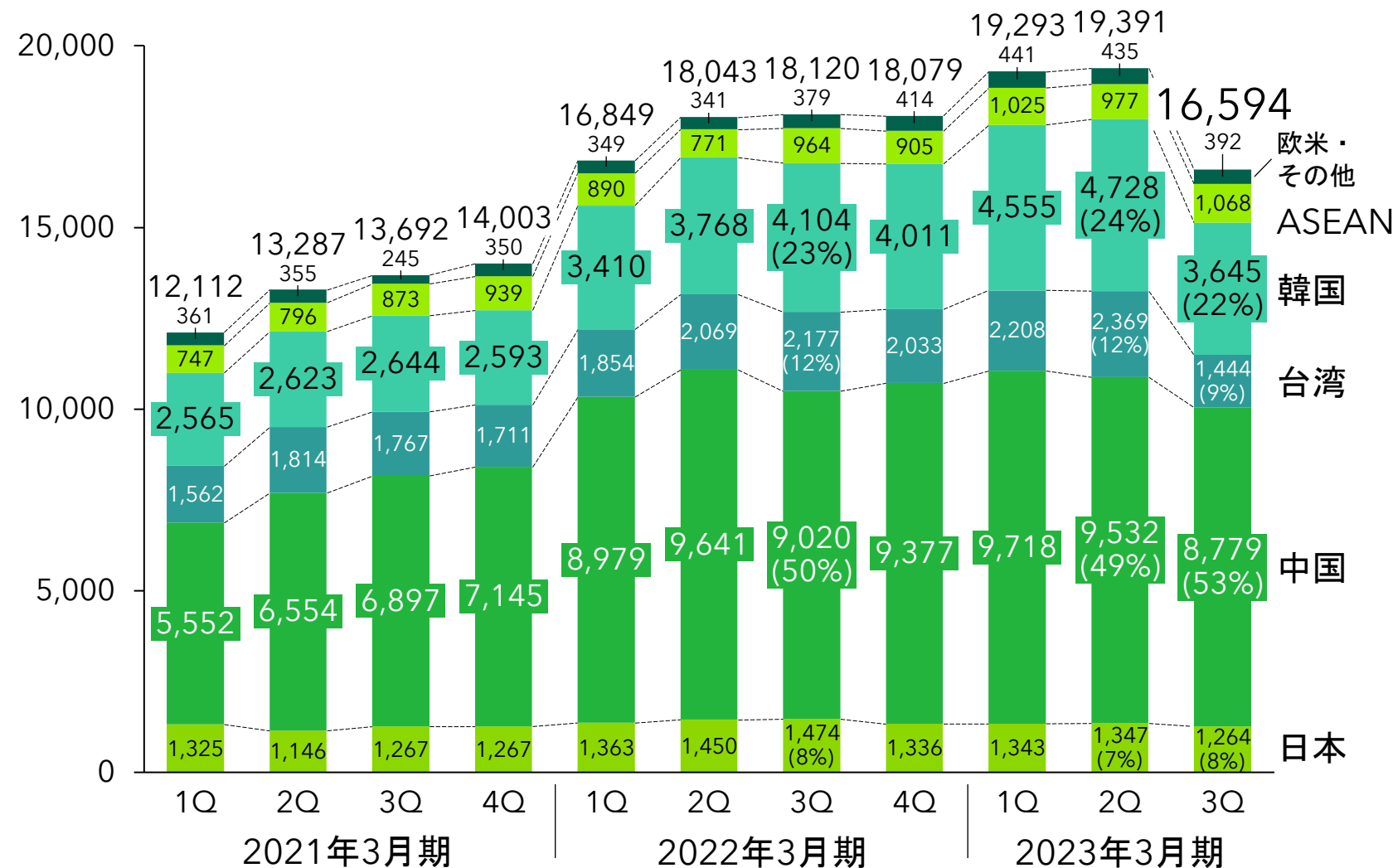
前年同期比 前四半期比  
累計



# エレクトロニクス事業

## 販売地域別売上高

単位：百万円



前年同期比 前四半期比  
累計

欧米・その他	+444	+91
ASEAN	(+17%)	(+9%)
韓国	+1,646	△1,083
	(+15%)	(△23%)
台湾	△77	△924
	(△1%)	(△39%)
中国	+388	△753
	(+1%)	(△8%)
日本	△333	△83
	(△8%)	(△6%)

# 圏央鶴ヶ島インターチェンジ東側地区 産業用地優先交渉事業者に選定

- ✓ 太陽インキ製造は、圏央鶴ヶ島インターチェンジ東側地区(農業大学校跡地)の産業用地優先交渉事業者に選定されました。当該用地において、主力製品であるDFタイプのSRの技術開発を目的とした生産技術センターの建設を予定しております。



# 医療・医薬品事業



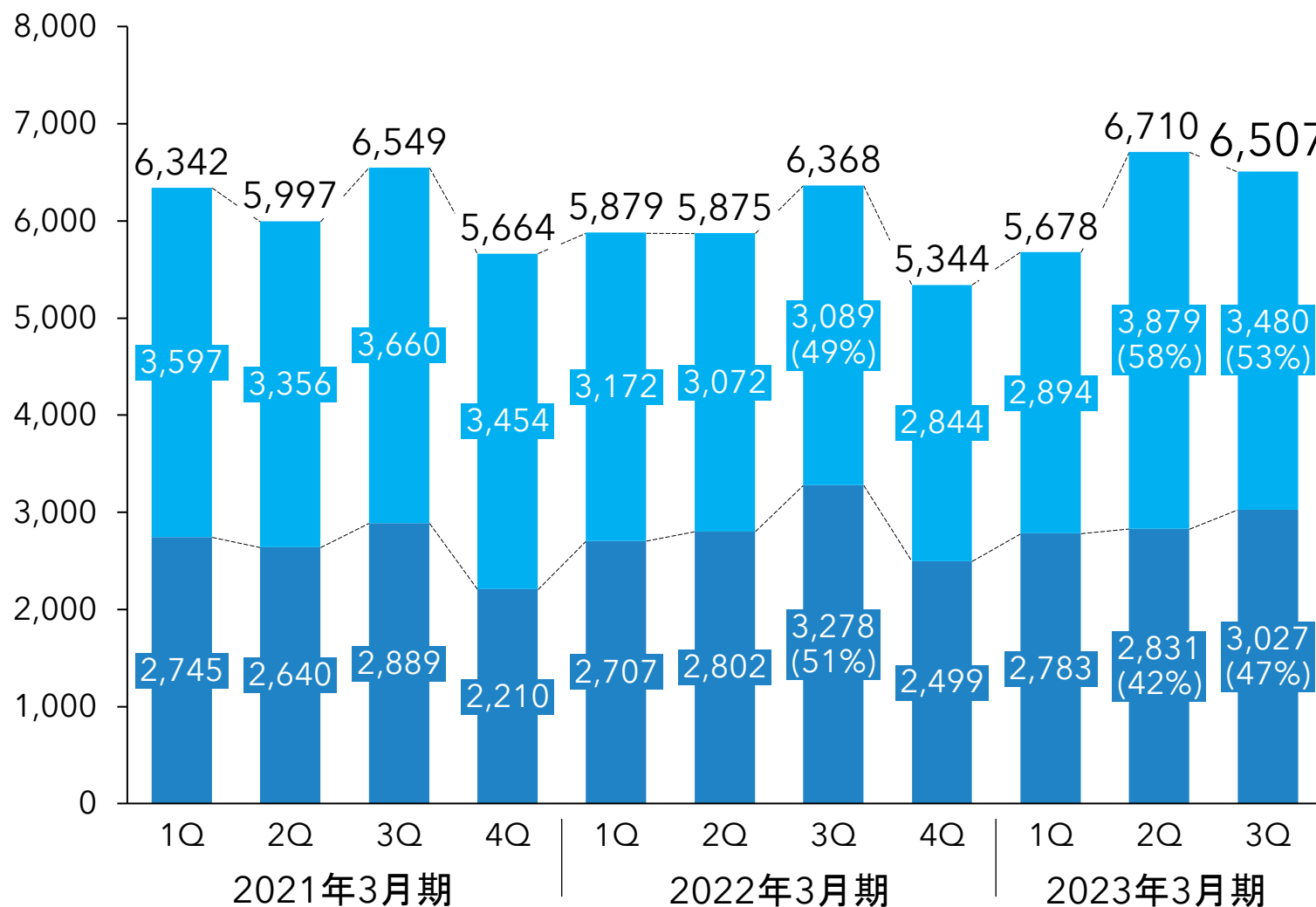
## 用語説明

用語	内容
長期収載品	新薬として発売された後に特許期間もしくは再審査期間が終了し、後発医薬品（ジェネリック医薬品）の販売が可能となっている先発品
CDMO	医薬品製造及び医薬品製剤開発を受託する機関 (Contract Development Manufacturing Organization)
GMP	医薬品及び医薬部外品の製造管理及び品質管理の基準 (Good Manufacturing Practice)

# 医療・医薬品事業

## 会社別売上高

単位：百万円



前年同期比 前四半期比  
累計

医薬事業	+773 (+4%)	△203 (△3%)
太陽 ファルマ テック (製造受託)	+920 (+10%)	△399 (△10%)
太陽 ファルマ (製造販売)	△146 (△2%)	+196 (+7%)

# パーキンソニズム治療剤「マドパー®配合錠」の剤型追加 に関する製造販売承認を申請

- ✓ 太陽ファルマは、パーキンソニズム治療剤「マドパー®配合錠」〔一般名：レボドパ・ベンセラジド塩酸塩〕の半量製剤を開発し、剤形追加の製造販売承認申請を行いました。

## 製造販売承認申請の概要

### 【承認申請製剤】

マドパー®配合錠の半量製剤

(レボドパ50mg及びベンセラジド塩酸塩14.25mg)

### 【申請日】

2023年2月7日

### 【申請理由】

日本神経学会及び日本パーキンソン病運動障害疾患学会よりご要望を受け、レボドパの投与量調整によるジスキネジア、ウェアリングオフなどの運動合併症の改善と医療現場の負担軽減のため、マドパー®配合錠の半量製剤を開発致しました。



注) 上記写真は現行品のマドパー®配合錠

# 新福利厚生施設「T-LINKS」の開設

- ✓ 太陽ファルマテックは、2022年11月に社内施設としての利用に加え、災害時には帰宅困難者等の一時滞在施設として利用可能な機能を備える新福利厚生施設「T-LINKS」を開設しました。

## 新福利厚生施設「T-LINKS」の概要

【所在地】 〒569-0806

大阪府高槻市明田町4番38号

(太陽ファルマテック高槻工場敷地内)

【建築面積】 約2,670m<sup>2</sup>

【延床面積】 約4,608m<sup>2</sup>

【階数】 地上3階

【開設】 2022年11月

【用途】 社員用の福利厚生施設に加え、  
災害時の帰宅困難及び近隣住民  
の避難施設





# その他事業 全社

# 太陽グリーンエネルギー 新たな水上太陽光発電所を開所

- ✓ 太陽グリーンエネルギーは、国内15ヵ所目となる水上太陽光発電所を奈良県に開所しました。これにより年間想定発電量は、国内エレクトロニクス事業および医療・医薬品事業に関わる外部購入電力消費量相当の約26GWhとなりました。

## 水上太陽光発電所の概要

【名称】西室池水上太陽光発電所

【所在地】奈良県葛城市西室

【開所】2022年11月

【発電規模】約619kW

【想定発電量】約763千kWh/年

(初年度12ヵ月換算)



# ファンリード 株式会社アペックスの株式譲受

- ✓ ファンリードは、株式会社アペックスの全株式を2022年12月26日に譲受しました。
- ✓ 大手製造会社向けの基幹システムにおいて、生産管理やSCM（サプライチェーンマネジメント）などを含めたサービスを総合的に提供しているアペックスとの協業・連携を通じて、今まで以上に質の高いITソリューションを提供し、お客様の事業の発展を支援してまいります。

## 株式会社アペックスの概要

【本社所在地】 東京都豊島区南大塚

【設立】 1983年10月1日

【資本金】 21,000千円

【代表者】 河野 義治

【従業員】 37名（2022年12月末時点）

【事業内容】 基幹システム・業務システムの開発  
生産・原価管理等のERP導入支援



# スケートボード・男子パーク永原悠路選手との 所属契約を締結

- ✓ 太陽ホールディングスは、スケートボード・男子パーク永原悠路選手と所属契約を締結しました。契約期間は2023年1月1日から1年間で、永原選手は当社所属選手として活動するとともに、当社が行う広告宣伝やイベントに協力します。

## 永原悠路選手のプロフィール

【生年月日】 2005年6月10日

【出身地】 長野県白馬村

【主な戦績】

	参加大会	戦績
2019年	全日本選手権	2位
	Vans Park Series Asia	2位
2022年	日本オープン	優勝
	X Games Japan	4位
	日本スケートボード 選手権大会	優勝





